

『チートアイテム管理局のお仕事ex』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『チートアイテム管理局のお仕事ex』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『チートアイテム管理局のお仕事ex』を読んだことのある20代～40代の男女14名
調査期間	2025年1月17日～2025年1月19日 2026年1月5日～2026年1月6日 2026年4月14日～2026年4月15日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/cheatitemkanrikyokunoosigotoex/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 『チートアイテム管理局のお仕事ex』を実際に読んだ評価を5段階で教えてください。

Q3: 『チートアイテム管理局のお仕事ex』を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

回答	回答数
20代女性	1名
30代女性	3名
40代女性	4名
20代男性	1名
30代男性	2名
40代男性	3名

Q2:『チートアイテム管理局のお仕事ex』を実際に読んだ評価を5段階で教えて下さい。

～～作品の5段階評価について～～

- ★★★★★(とても面白かった):絵・物語・キャラに魅力を感じた。続きがあればぜひ読みたい
- ★★★★(面白かった):漫画の内容で面白かったり、満足できる要素が一つでもあった。
- ★★★(普通):面白いとも面白くないとも言えない。
- ★★(面白くなかった):あまり好きではない描写や要素があった。
- ★(全く面白くなかった):読んでいて不快・退屈だった。

★★★★★	4人
★★★★	9人
★★★	1人
★★	0人
★	0人

Q3:『チートアイテム管理局のお仕事ex』を実際に読んだ感想を教えてください。

言われるがままに扉を開けると、感情を失ったような顔をした女の子が、近付いてきた時は驚きました。被害者の女の子を見てドキドキする主人公が良かったです。先輩が催眠に掛かってしまった時はハラハラしたけど、ここぞとばかりに触りまくる主人公が面白かったです。

地味に好きなEXシリーズです！！このシリーズはいつもと作画が違うので丁寧な作画で読みやすくシーンも映えて見えるので好きです。本作はいつもの催眠・洗脳といった代名詞から少し外れて、催眠アイテム使用者が捨てたあとに焦点を当てたある意味画期的な作品です。バイトの主人公がチート催眠の被害者たちの処理を上司とコンビで解決しつつ棚ボタ的にラッキーな目にありついでいきます。

ラストの上司の確信犯的行為が最高でしたー！！ぜひ読んでみていただければw

自分の工作中にせっせと悪いことをしている主人公ですが、結構コミカルに動くのでどことなくくめない感じがします。個人的に思ったのが、設定が面白い。通常の異世界系とはちょっと違ってあるので、異世界系に飽きてしまっている方でも楽しめると思います。一緒に働いている先輩にまで手を出しちゃうダメっぷりが結構好きでした。

非現実的な描写が何ともたまらない作品となっています。チートアイテムが存在する世界でそんなアイテムの被害者たちを保護するのが仕事のはずが、ここぞとばかりにしてしまうのが男性の性なんでしょうね。いけないことをしているような感じが何ともたまらなく刺激的でいいですね。

チートアイテム管理局の回収部でバイトをしているのがこの話の主人公なのですが、回収した女性を好き勝手にする流れにかなりドキドキしました。正直、自分がもしこの主人公の立場でもきつと同じ行為に及んでいたと思うのでとても感情移入できました。躍動感が作画から凄く伝わってくるので非常に面白いですね。

大体の作品はチートアイテムを使って行為を展開していく作品がほとんどなのですが、この作品はそのチートアイテムで行為された後という展開なので新しい感覚になりましたね。作中、主人公

がチートアイテムの餌食になった女性たちに手を出すアグレッシブさにはあっぱれですね。

嫌な思い出を忘れさせてくれる。なんてすばらしい職業かと思いきや、この仕事をする管理局員が最もおぞましい。確かに忘れさせてくれるかもしれませんが、とはいえやっつけていいことと悪いこととあるでしょう。なかなか卑劣というか、行為前の脳に戻れるってかなりうらやましい。そういった過去はすっぱり忘れたいと思えるはず。

どうせすべてを忘れるからとしちゃった男性職員はとにかく卑劣です。でも女性職員はこのことが分からなかったのでしょうか。思いっきり確認しているし、しかも監視カメラがないとか誰も来ないとか、知りたい情報をすべて言っちゃっています。その意味深なセリフ。キツネ面の彼女の方が不気味。いろんな職業がありますね。

チートアイテムというタイトルからならうでよくあるダンジョンものかと思う人も居るかと思いますが、舞台は現代となっている。ここで登場するチートアイテムとは催眠だったり時間停止だったりというもの。そのチートアイテムでおかしくなっちゃった女の子を装置を使って「脳洗い」して記憶をなくして元の生活に戻す、というのが話の Suj。中心人物はキモ男っぽい主人公と先輩(女性)なのだが、元に戻す際には女の子の記憶がなくなるのをいい事に主人公は女の子に好き放題しているというお話です。おかしくなっちゃった女の子達は時間停止だったり、洗脳されてたり、感覚遮断されてて無反応になってたり、と倒錯した中にもバラエティあり。変質者も千人十色と言った趣を感じる(こんな所で)この管理局の制服はツナギ姿に顔を隠すお面という出で立ちなのだが、ラストは先輩もすっかり罠にはまってしまって、主人公が元に戻してあげます。個人的に一番良かったのは、先輩であるバディのお姉さんにあれこれするっていう部分ですね。上記した通り色々な壊れ方してる女の子が登場するので、結構ボリュームミーなのも好ポイント。

脳洗いでどうせ忘れるから、というチートな設定がたまりません！現実社会で元男性アイドルのタレントと女性アナウンサーの問題が頭をよぎっちゃいました。回収し忘れちゃったんでしょね。アニメ調なタッチながら、設定のえぐさがアンバランスで変なドキドキを覚える作品です。

もう、とにかくやりたい放題の胸糞話...ではあるのですが、女の子たちには記憶が残らないというのが救いかなと思えました。制限されている状況だからこそ、主人公も好きにできるのだと思います。個人的には異世界ファンタジー系のお話が好きなので、かなり刺さる作品でした。チートアイテムは異世界系のお話では全然珍しくないですが、こういうアイテムが使える世界でどのように行政が対応しているのかを描くというのがまた面白かったです。

一度体に刻み込まれた記憶というのはなかなか消えないものですが、それを忘れさせてくれるなんてすばらしい職業ですね。ただ現代の世の中でも警察官や聖職と言われる教師にだって悪い奴もいる。そしてこの世界にも。絶望の状況に追い込まれた女の子たちにドキドキするなんて最低の中の最低。こんな奴らがいるから世の中良くならない。

無理やりに強い奴らに襲われ体も心も傷ついた女の子たち、そんな子たちを回復させてくれるだけでなく忘れさせてくれる。本来であればすばらしい仕事なんですよね。でも今や警察や教師の中にも悪人がいるように、この世界でも悪は隠れていた。結局はなかったことになるものの、つらい思いをした女の子に更にとはなんて奴なんだ。

あらゆるチートを駆使して欲望を発散しまくる展開が好きですね。無反応化した女性を徹底責めして楽しむ展開は大好きです。さらに、時間停止もの...主人公が完全に無双しているのが良かったです。さらに、絶対服従の状態になった先輩を助けるつもりが、案の定ただの捌け口に。こんな鬼畜展開なのに共感してしまうのが不思議です。

